

ゆい育成だより

令和2年(2020年)
1月20日(月)
第134号

最新情報はホームページより発信しています。QRコードをスマホで読むか



地子連

検索

由井第一地区子ども会育成団体連絡協議会(由井第一地区 地子連)



サブリーダー研修について 由井第一地区地子連会長 酒井 敬夫

由井第一地区地子連は、地域子ども会の育成を主たる目的として活動しています。広報誌の発行、球技大会の開催、八王子市市子連と地域子ども会との連携、サブリーダー研修の実施によるリーダー育成などを行っています。ここでは年間を通して実施しているサブリーダー研修について紹介したいと思います。

研修会のカリキュラムは、全国につながっている子ども会活動と子ども会とは何かということから始まり、創作活動(名札作り、ペットボトルピザ)、野外活動(キャンプ)、クリスマス会などのレクレーションによるチームでの協調性を育成するゲーム研修、地子連行事、市子連行事の参加によりボランティア活動などの研修を行います。

対象者は小学校4年生から6年生としていますが、3年生も体験参加を可能としています。原則、子ども会会員を対象としていますが、近年の子ども会会員の減少、及び一部の子ども会の休会などの事情から、由井第一小学校、長沼小学校の協力により子ども会会員以外の子ども達にも参加を呼びかけています。

研修当初においては、元気すぎる子もいれば、初対面が多く消極的に参加する子ども達も多く、研修会として思うように実施できない状況もありますが、野外活動を境に自信にあふれた顔になり、協調性にあふれ、思いやりのあるサブリーダー達に変わっていきます。これも、異年齢で構成する班ごとの活動を基本として、仲間と協力しながら体験学習を行うため、協調性と思いやりが必要な研修となっているからなんだと思います。

お陰様で、今年度のサブリーダー研修も無事に大成功で終了しそうです。サブリーダー研修を終了し、中学生になった子ども達は引き続きジュニアリーダーとして子ども会活動でリーダーシップを発揮している人が大勢います。これからもたくさんの可能性を秘めた子どもたちの良いところをサブリーダー研修を通じて引き出していけたらと思います。



▲11/30に開催したクリスマス会。厳かな雰囲気のもと開会した後は、終始笑いっぱなしのゲーム大会。最後はプレゼント交換と集合写真



北野の子ども会の活動紹介 北野子ども会育成会会長 村田 友加里

北野子ども会では、今年度から畑での野菜づくりに取り組んでいます。みんなで土を耕し、苗を植え、草取りをし、食物を育てることの喜びと大変さを学びながら採れたての野菜の美味しさを知ること、食育にもつながると考えています。

夏の収穫はジャガイモ。採れたてをふかしたジャガイモに子どもたちも大喜び！秋の収穫はサトイモとサツマイモ。掘ったサツマイモは、12月のクリスマス会で焼き芋にいただきます。

夏休みには和田盆踊りに参加しました。屋台のお店番や子ども神輿など、子ども会ならではのお祭り行事です。

そんな北野子ども会の活動に欠かせないのが、保護者OBの通称「オジサズ」。畑作業、流しそうめん、キャンプ、もちつきなど、普段なかなかできない体験を子どもたちのためにと汗を流してください。縁の下の力持ちです。

今年は子どもたちも定例会に参加したりと、伝統を守りつつ新しいことにチャレンジする北野子ども会です。

由井第一地区の子ども会紹介

様々な人の繋がりから多種イベントに取り組まれている「北野子ども会育成会」さんにご寄稿いただきました



▲地域の農家さんのご協力で楽しむ夏のジャガイモの収穫祭り



夏の野外活動研修レポート 由井第一地区地子連委員 山本 清美

今夏もサブリーダー研修のメインイベント！ともいえる宿泊キャンプでの野外活動研修に行ってきました。日程は8月24～25日の一泊二日で、場所は山梨県にある「アオゲラの森キャンプ場」です。

キャンプへ参加したサブリーダーは全19名となりました。また、今年は高校生以上のシニアリーダーからのお手伝いも多く、頼もしくて心強いキャンプとなりました。

両日ともお天気に恵まれて、絶好のキャンプ日和となりました。サブリーダーキャンプは往復に観光バスなどを使用せずに、公共交通機関でキャンプ場まで往復します。しかし、野外活動研修の楽しみの一つにバスレク（バスの中でジュニアやシニアリーダーが教えてくれる楽しいゲーム）があります。そこで、キャンプ場の最寄り駅である上野原駅からキャンプ場までの行きバスだけは（なんとか）路線バスを貸し切りとし、バスレクを楽しみました。

キャンプ場に到着すると、まずは酒井村長による開村式が行われ、本格的に野外活動研修がスタートです。開村式を終えたところでひとまず昼食となりますが、ここでさっそく、野外活動研修ならではの洗礼です。というのも、活動中に食事をする場合には、初めと終わりに「いただきますの歌」と「ごちそうさまの歌」を歌います。しかも元気よく声をださないと、いつまでも食事は始まらないし終わることもできません。最初となったこの昼食では、なかなか声も出さず表情も硬くて、判定しているシニアからのOKがなかなか出ませんでした。

昼食を終えると、夜のキャンプファイヤーの準備としてトーチ棒づくりやスタンツ（ファイヤー中での即興劇）の練習をしていると、あっという間に夕方となり、飯ごう炊さんとカレー作りです。各班で火おこしチームと料理チームに分かれて一所懸命に夕飯を作りました。

夕飯が終われば、いよいよキャンプファイヤーとなります。燃え盛る炎を囲んで、ゲームや歌を楽しんだり、練習し

たスタンツをお披露目しました。各班とも自分達で構成したスタンツを演じて楽しそうでした。また、お手本としてシニア以上のメンバーによって披露されたスタンツは、さすがの面白さで、子ども達も見入っていました。キャンプファイヤーを終え、長い一日も終わりバンガローで就寝となりましたが、興奮した子ども達はなかなか寝付けなかったようです。

キャンプの二日目は、追跡ハイキングを楽しみました。追跡対象はキャンプ場のみならず、周辺の山々まで広く設定され、各ポイントでのお題を解きながらゴールを目指します。班によっては、妙にスムーズに進行してしまった班もあれば、道に迷いそうになったり、ポイントを飛ばしてしまって苦労したりする班もいたり様々でしたが、仲間と協力をして挑んだ追跡ハイキングは、後日のアンケートでも楽しかったとの回答がたくさんありました。

二日間の様々な活動を経験して、最後の閉村式を迎える頃には子ども達の顔つきが変わり、ぐっと頼もしくなっていました。いただきますの歌や点呼等も大人が驚くくらいに元気な声を出せるようになりました。たったの二日間ではあっても、子ども達の成長するスピードに感動をおぼえつつ、今年も無事に野外活動研修を終えることができました。



▲全員が達成感と一体感で充実した野外活動研修閉村式での集合写真



▲火おこしから自分達で苦労して作った食事は、忘れられない格別の美味しさ



▲一所懸命作ったトーチ棒で臨むキャンプファイヤーは、都会じゃ味わえない体験

子ども達の人気アンケート結果(19名)

| | | | |
|-----|----|------------|--------|
| 1日目 | 1位 | キャンプファイヤー | 満足度89% |
| | 2位 | 飯ごう炊さん | 満足度74% |
| | 3位 | 夕食(カレーライス) | 満足度74% |
| 2日目 | 1位 | 追跡ハイキング | 満足度89% |
| | 2位 | 朝食 | 満足度74% |
| | 3位 | 昼食 | 満足度68% |

※その他、バスレク、花火大会、ロープワーク講習が一番楽しかったという意見も多数ありました。

地子連の行事

- 2月15日(土) サブ研修会・閉講式(春日会館)
- 4月11日(土) 令和二年度総会(春日会館)

市子連の行事

- 2月 2日(日) 新春子ども大会(いちょうホール)